

水稻育苗用ロックウールマットの効果確認試験

JAむかわ

小笠原 大揮



ハウス内全体の様子 5.17



慣行区の様子 5.17



慣行区の様子 5.17



試験区の様子 5.17



試験区の様子 5.17

試験目的

薄型こめパワーマットの実用性確認

試験作物 及び品種

水稻(ゆめぴりか、そらゆき)

試験資材 及び数量(規格)

薄型こめパワーマット 90枚

慣行資材

培土

栽培方法

播種日

慣行区:4月24日

試験区:4月24日

資材使用期間

4月24日～

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

播種時については、土苗より非常に軽く、作業性が良かった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

水管理に失敗してしまい、苗が完全には出揃わなかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】:土苗に比べて育苗箱が軽くなるため、作業性が向上する。

【問題点】:育苗時の水管理や温度管理が土苗と異なるため、慣れるまで注意が必要。

モニター感想

播種作業とハウス内への育苗箱設置作業は、こめパワーマット使用の育苗箱が非常に軽く良かった。

しかし、水管理に失敗し、試験品は苗がまばらになってしまった。

土苗と管理が異なることが分かった。

JA担当者の感想(むかわ 経済部 國重次長)

播種作業の際には、実際に立会って生産者と作業を行ったが、育苗箱が非常に軽く、作業性は素晴らしかった。

しかし、その後の水管理でうまくいかず、生育状況は芳しくなかった。主な原因は、初期のかん水が不足していたためと考えている。

管理(特に水管理)が慣行とは異なるため難しく、慣れが必要である印象を受けた。

また、当管内では蜜苗の試験を行っているため、こめパワーマットの蜜苗試験の事例が増え、使用可能かどうか知見があると良い。

今後の使用について

かん水管理に失敗してしまったので、要検討。

1 栽培システム

2 施設システム

3 製地フィルム

4 マルチ

5 不織布

6 育苗資材

7 防虫ネット

8 除菌資材

9 ICT機器

10 その他